

# 川崎の社会福祉

あなたの「やってみたい!」を応援する広報誌



No.604

2024.4  
SPRING



日吉第一地区社会福祉協議会  
「男の手料理ハラハラ亭」

一緒に見つけよう、  
あなたにできること

特集

誰もが支える・支えられる地域共生社会を目指して

 川崎市社会福祉協議会 (通称:川崎市社協)

For a Smile



川崎市社協キャラクター  
ななふく

# 誰もが支える・支えられる 地域共生社会をめざして

「地域共生社会」という言葉、皆さんはご存じでしょうか。年齢や性別、障害の有無などに関わらず、地域みんなが役割と生きがいを持って、共に生きていく社会のこと。実現はちょっと難しそう？ いいえ、そんなことはありません。あなたのすぐ近くにも、地域共生社会をつくるヒントが隠れています。

## 皆さんもこんなことを思った経験ありませんか？

### 高齢

定年退職後、人と会うことが減ってしまった



男性も気軽に参加できる地域活動の場があればいいのに...


まちの高齢男性

### 子育て

子育てもひと段落！今度は地域の親子のために何かできないかしら

はじめての育児で不安いっぱい

相談できる先輩ママとつながりたい



まちの人


乳幼児のママパパ

### 障害

車椅子の人が困っていた。何て声をかければいいのかしら？

障害のある人

外出時、周囲にこんなサポートしてもらえると助かるんだけど...



まちの人

### 日吉第一地区社協 生きがいづくりと地域貢献を両立！ 男の手料理 ハラハラ亭

ひとり暮らし高齢者を対象とした会食会は多々あれど幸区で活動する「男のハラハラ亭」はちょっと違う！調理担当は料理経験ゼロの60～90代の男性たち。メンバー自身も楽しみながら参加者へ食事を提供し、地域の支え合いを実践しています。



「男子、厨房に入らず」世代の私たち。設立6年目の今も失敗は絶えませんが、試行錯誤の繰り返しと周囲の支えのおかげで会食会が続いています。この活動に「誰かに何かをしてあげる」という気持ちは必要ありません。メンバー自身が楽しむ姿勢がいちばんの原動力です。

### 中野島地区社協 「子育て」の悩みを地域がフォロー！ 子育ておしゃべり会


子育てママの力になりたい。そんな想いを抱いた多摩区・中野島地区社協のメンバーが、保護者と地域がつながるきっかけづくりを創出！乳幼児支援の専門家や近所のママ同士が気軽に交流できる「おしゃべり会」を実施しました。



地区として初めての試みだった今回のイベント。いざという時に頼れる場所があるとママたちに思ってもらえるよう、これからも活動を続けていきます！

保護者の中には、悩みを打ち明けるとへ気後れを感じる人もいます。身近にこのようなサポートがあれば、たくさんの親子が救われます。私たち専門職も協力を惜しみません！

ち明けるといいます。身場のあれば、みません！



左から かわさきさくら児童家庭センター 金子臨床心理士 / 中野島のはら保育園 住吉園長

### 障害者(施設)のことを知ろう！ 福祉でつながる地元交流会

障害があっても地域の中で安心して生活ができる地域共生社会の実現を目指して、幸区の障害者支援施設・セルフきたかせで「福祉でつながる地元交流会」が行われました。交流会には民生委員20名以上が参加し、障害当事者や施設スタッフの話に耳を傾けました。



施設利用者の家族が、障害当事者の日常や地域への要望を発信



意見交換会では多くの質問や提案が上がりました



長尾福祉会の皆さん 左から細谷さん / 柳澤さん / 原さん / 野澤さん

障害者施設は地域とのつながりが薄くなりがち。交流会を通じて地域の皆さんと顔見知りになることで、何かあった時もお互いが相談協力できる関係をつくっていききたいです。

地域を見守る民生委員として、障害について理解することの大切さに改めて気が付かされました。早速、この日知り合った専門職の方々と一緒に勉強会を企画中です！



民生委員児童委員 加藤さん



会場からは「勇気を出して参加してよかった」との声も



それぞれの得意分野を活かした役割分担をしているそう



最高齢はなんと91歳！調理メンバー12名で、約100名分の食事を準備します。

調理指導など、地域の女性たちも活動を支えます

この日のメニューは目にも鮮やかな「おいなりさん」

当日は食事だけでなく、体操やゲーム大会など開催

**\*活動MEMO\***

#### 男の手料理 ハラハラ亭

活動場所 原町公会堂・山崎会館(幸区)

活動頻度 偶数月に1回


※食事は持ち帰りで提供(2024年2月現在)

活動の様子を Youtubeで配信中



市内40地区で様々な活動を行っています

地区社協概要集をもっと詳しく！




あなたのまちの町会、職場、学校でも「ふくしのまなび」を開催できます

高齢者・障がい・保育などの知識や経験を持つ「ふくしの専門家」が皆さんの地域に出張し、ご希望に応じた講座・交流会を無料で実施します。だれもが笑顔で暮らせるまちづくりに向け、みんなで一緒に考えませんか？

社協が講師をコーディネートします！

詳しくはこちら



# 一緒に見つけよう、あなたができること！ みんなでつくる地域共生社会・かわさき

市社協は皆さんとともに、誰もが安心して暮らせる川崎のまちをつくっていきます。




私たちは  
4つの目標を  
掲げています

- ✓ みんなが参加できる地域をつくろう
- ✓ 寄り添い支え合える地域のネットワークをつくろう
- ✓ 認め合い支え合う心を広げよう
- ✓ 未来の福祉を共創しよう

## 地域共生社会の実現に向けた川崎市社協10の取組

**1 「ふくし」の心が育つ取組**


同じまちに住む一人ひとりが、お互いの立場に立ち、尊重し合うためには、身近な地域のことを理解する必要があります。住民みんなが地域課題を「自分事」ととらえられるよう、私たち社協が「ふくしの心」をはぐくむ機会を提供します。



小学校と高齢者施設をオンラインでつないだ福祉教育授業

**2 多様化する地域課題・生活課題への対応**

要支援世帯を早期に発見し、サポートするためのアウトリーチを強化。日頃からの地域における顔の見える関係づくりを通して横断的な相談対応体制を構築します。



ITが苦手なシニアへ地域の学生がスマホの使い方をレッスン

**3 伝わる広報・啓発**

社協が取り組む事業だけでなく、地域のさまざまな団体・活動の情報を効果的に発信することで、「ふくし」への理解を広めます。

**4 活用の見える化・寄付文化の醸成**

地域福祉への参加方法のひとつに「寄付」があります。寄付・募金しやすい環境や仕組みを整えるとともに、使い道や効果の「見える化」に努めます。

**5 場づくり・機会づくり**

介護や育児などによる社会的孤立をストップ！住民同士の交流、ご近所づきあいに繋がるようなきっかけづくりを推進します。

**6 住民主体の活動の振興**

ボランティアの育成はもちろん、参加しやすい環境整備、交流の機会づくり、情報発信などを通じて、住民の地域活動をサポートします。

**7 福祉人材の発掘・育成・支援**


福祉の仕事の魅力を発信し、専門人材の発掘および育成を行うとともに、専門性や技能の向上に向けた取組を推進します。

**8 多種多様な社会資源同士の連携強化と協働**

分野別の組織・専門領域の枠を超えたネットワークづくりで、深刻な地域課題の解決をめざします。

**9 災害に強い地域づくり**

さまざまな災害時の対応にそなえ、住民、関係団体・機関や地域資源の把握と連携強化、住民同士のつながりづくりを平時より推進します。また、いざという時に円滑な支援活動を届けられるよう、ICTの活用をはじめ、さらなる支援体制の構築をすすめます。



災害ボランティアセンター設置訓練

**10 持続可能な地域福祉の推進に向けた調査研究の強化**

地域活動の活性化や実施にくわえて、課題・ニーズの把握、解決に向けた調査研究を強化します。

みんなで支えあいともに安心して  
その人らしく暮らせる川崎のまちづくり  
～ともに目指す地域共生社会の実現～

地域福祉活動計画について  
詳しくはこちらをご覧ください



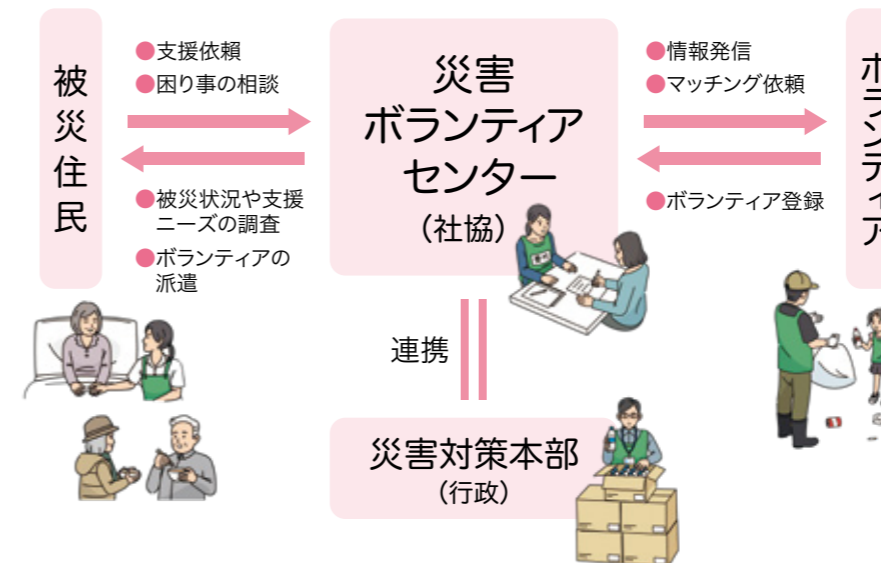
被災地をささえる社協のしごと

# 災害ボランティアセンターのおはなし

地震や水害などの大きな災害が起こった時、被災住民にとって心強い存在となる“災害ボランティア”。そして、被災地のニーズとボランティアを調整し、復興へのアシストを行うのが、現地の社協が立ち上げる災害ボランティアセンターです。今年1月に最大震度7の大地震が起きた石川県能登地方でも各地で災害ボランティアセンターが稼働しており、全国の社協職員がその運営をサポートしています。



## 災害ボランティアセンターの役割



## 災害ボランティアのこころえ

まずは正確な情報収集を！

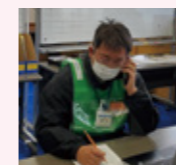
被災地のニーズは刻々と変化します。被災地にその時必要な支援を届けるためにも、事前の情報収集は欠かせません。出発前には必ず、現地の社協や全社協の公式SNS・HPを確認しましょう。

発災直後 時間が経つと…

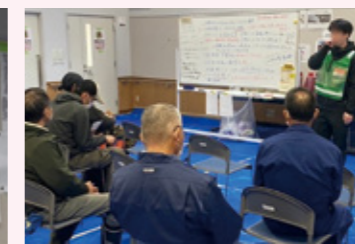
家屋の片付け支援物資の仕分けなど → 生活支援メンタルケアなど

被災地の状況に応じて  
ボランティアの役割は変わります

## 能登半島地震 川崎市社協職員も運営支援に参加！



ボランティア活動  
振興センター徳田  
所長



中能登町災害ボランティアセンターで、主に被災された方の困りごとを伺うニーズ受付の業務を行いました。災害ボランティアセンターでは現地社協をはじめとする私たち社協職員の他にも、企業・民生委員をはじめとする地元支援者など様々なメンバーで運営していたことが印象的でした。川崎で災害が起きた場合を想定し、災害ボランティアセンターの在り方について考えていく必要を痛感しました。

## 災害・防災関連の情報は こちらから！

川崎市社協  
災害情報

Facebook Twitter



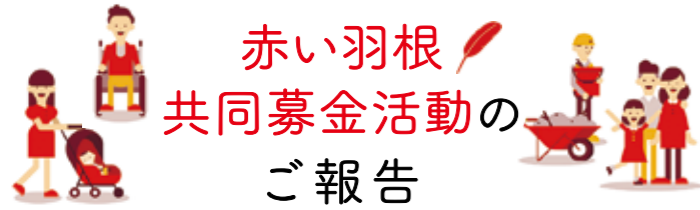
被災地への  
義援金情報



防災お役立ち動画を配信中！



## SUPPORT たすけあいの気持ち



### 赤い羽根 共同募金活動の ご報告

2023年度も、共同募金運動へのあたたかいご支援・ご協力をありがとうございました。市民の皆さまをはじめ、町内会・自治会、企業、学校など各種団体のご協力により、多くの寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

募金総額 (2024年2月29日現在)

126,240,845円

- 一般募金 76,684,649円
- 年末たすけあい募金 49,556,196円

### 募金の使いみち

つぎのような活動に役立てられています。この他に、大規模な災害に備え、毎年共同募金の3%が災害等準備金として積み立てられています。大規模な災害が発生した場合には、災害ボランティアセンター(本紙5ページ)の運営をはじめ、被災地でのボランティア活動を支援するため拠出され、能登半島地震の被災地での活動も支えています。

#### 子育てを応援する活動に /



ペアレントトレーニングの開催

#### 障がい者の活動をより便利に /



施設の備品購入

#### 被災地での活動に /



災害ボランティアバスの実施

#### 地域交流や、高齢者のいきがいに /



認知症予防カフェの開催

### 赤い羽根データベース「はねっと」

共同募金の使い道は市町村ごとにデータベース化し、公開されています。



はねっと 検索

## BOOK 地域福祉情報バンクのおすすめ図書!

### 「働き盛りの介護」というリスクに備えよう

なぜ仕事と介護の両立が難しいのか、なぜ介護離職をしてはいけないのかを深く考えさせられる本書。ビジネスケアラー(働きながら介護をする人)が一人で介護を抱え込まないようにするにはどうしたら良いのか…。

子どもが親を介護することが、必ずしも親孝行とは限りません。介護離職をしてしまい、

介護を終えた後に自分の生活が立ち行かなくなることはないように、今の時代にあった介護の知識を得つつ、介護(福祉)のプロを頼りましょう。“知は力なり”という言葉があります。介護の知識を持っていることが介護の負担を軽くしてくれるはずですよ。

まずは情報収集から始めてみませんか?

ビジネスケアラー  
特集はこちら →



ビジネスケアラー  
働きながら  
親の介護をする人たち  
酒井 稔(著)  
ディスカヴァー・トゥエンティワン  
2023年発行

地域福祉情報バンクで貸出しています  
(エポックなかはら6階)

蔵書検索は  
「ふくみみ」で!



TEL: 044-739-8720 MAIL: jyoho@cs-w-kawasaki.or.jp

## SUPPORT 毎日のあんしんをお手伝い

日常生活自立支援事業のご案内

### こんなお困りごと、ありませんか?

福祉サービスの  
手続きが分からない



日常的な金銭管理に不安がある



高齢者や知的障害、精神障害、身体障害の方で、自分1人では福祉サービスの利用契約などを判断することや金銭管理に不安がある方が利用できます。

### 福祉サービス利用援助・日常的な金銭管理サービス

- 福祉サービスの利用手続きを支援
- 福祉サービスの情報提供
- 生活費など金銭の出入金の手続き
- 家賃や医療費の支払い手続き

月額**2,500円**で  
ご利用いただけます

※預貯金通帳や証書、印鑑などの「書類等預かりサービス」は別途料金が必要(月額3,000円～)

※生活保護受給者の方は、川崎市の被保護者金銭管理等支援事業の対象となりますので、担当のケースワーカーへご相談ください。

当事業を支える  
生活支援員さんも募集中!

詳しくはこちら  
●お問合せ: 川崎市あんしんセンター運営課 TEL: 044-739-8727



## NEWS みんなでできる地域貢献

市内高校生がデザイン!

### ななふくLINEスタンプ第二弾 販売中

昨年大好評だった市社協オリジナルLINEスタンプに第二弾が登場! 川崎総合科学高校デザイン科の高校生13名がデザインしたこちらのスタンプ、販売収益は市内の地域福祉活動へと活用されます。

好きなだけ  
使ってください  
買ってください



送った人も送られた人も、ふっと笑えて幸せになれるようなデザインを心がけました。



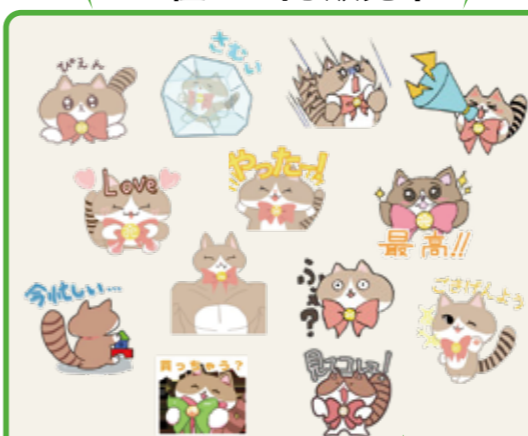
自分たちが作ったスタンプが地域貢献になると嬉しいです。ぜひたくさん使ってください!



ななふくの可愛い見た目や面白い特徴に着目し、日常使いしやすいスタンプを作りました。



40種 120円 販売中



スタンプ購入はこちらから!



スタンプ制作に協力してくれた  
川崎総合科学高校の皆さん

福谷藍さん/高山斐風さん/尾崎優実さん/鈴木日彩さん/羽生朱花莉さん/近藤妃来さん/山中樹さん/小谷真央さん/諏訪凛音さん/渡辺瑠奈さん/渡邊芽依さん/藤本茉優さん/大野杏奈さん



募集!!

あなたも社協で働いてみませんか?



## 介護支援専門員・サービス提供責任者

長い歴史と信頼が自慢! 社協の事業所で働こう

市内7ヶ所の訪問介護支援事業所にて、介護支援専門員(ケアマネジャー)とサービス提供責任者を募集しています。勤務地や勤務開始日は相談に応じます。



詳しくはこちらをチェック!

<https://csw-kawasaki.or.jp/recruit/>



## 寄付御礼 令和5年12月1日~令和6年2月29日受領分

〇川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付

一般社団法人 川崎市弘済会 様

黒田 恭博 様

セレサ川崎農業協同組合 様

登戸混声合唱団 様

株式会社ナクール 様



〇食糧支援かわさきへのご寄付

社会福祉法人緑成会 特別養護老人ホーム新緑の郷 様

生活協同組合ユーコープ かながわ県本部 様

※各区社協の窓口でご寄付いただいた方については、各区社協発行の広報誌にてご芳名を掲載いたします。

あたたかい  
ご寄付、ありがとう  
ございました



## エポックなかはら リニューアル記念公演

エポックなかはら・大ホールのリニューアルオープンを記念し、歌手・役者・女形として活躍する椿欣也氏を迎えたスペシャルショーを開催します。皆さま、ぜひお越しください。

### 川崎市総合福祉センター エポックなかはらリニューアル記念公演

●日時: 5月21日(火) 14時~17時

第1部 芝居

神風特攻隊「ひこうき雲」  
~夢溢る世の中であれと~

演出・構成: 椿 欣也



脚本・構成  
映画監督

井坂 聡

第2部 特別歌謡舞踏ショー

「華の色絵巻」花の吉原花魁ショー

構成・演出・振付・所作指導: 椿 欣也

●会場: 川崎市総合福祉センター  
(エポックなかはら) 大ホール  
JR南武線「武蔵中原」駅直結

詳しくはこちら



●料金: 1階5,000円 / 2階4,000円

川崎市社協会員は 1階席 5,000円 → 3,500円

●申込: 企画調整室 TEL: 044-739-8714



「お母さん、僕が去る日、  
自分の家の上空を飛びます。  
それが僕の  
別れのあいさつです」



椿 欣也

「舞で魅せ、歌で聴かせ、芝居で心揺さぶる」のキャッチフレーズでテレビ、舞台、ディナーショー等で活躍。阿波とくしま観光大使に就任。徳島県交流大使もつとめる。今年、芸能生活30周年を迎える。



編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住所: 川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL: 044-739-8710 (代) FAX: 044-739-8737

E-MAIL: info@csw-kawasaki.or.jp HP: https://www.csw-kawasaki.or.jp/

広報誌「川崎の社会福祉」へ掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせください。

この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

